

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2024年3月期 第2四半期

2023年11月6日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 連結貸借対照表の推移	P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	P 6
IV. 配当の推移	P 7
V. 主な医薬品の売上推移	P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	P 9

注記

- 本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2023年11月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、30,765百万円（前年同期比10.1%増）となりました。国内医薬品では、昨年度に新発売した潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ錠」、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タブネオスカプセル」の伸長に加え、過活動膀胱治療薬「ペオーバ錠」、本年4月に新発売した慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬「タバリス錠」の売上、コ・プロモーションフィーなどが増加し、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は4,133百万円（前年同期比23.9%増）、建設請負事業の売上高は1,663百万円（前年同期比33.0%増）、物品販売事業の売上高は416百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

・利益の状況

利益面では、増収に加え、売上原価率の改善、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、増益となりました。なお、営業外収益として有価証券売却益・評価益を、特別利益として投資有価証券売却益をそれぞれ計上しています。

・研究開発の状況

昨年9月に当社との共同開発先である丸石製薬株式会社より承認申請が行われた透析患者におけるそう痒症治療薬ジフェリケファリン（一般名、開発番号：MR13A9）の製造販売承認を本年9月に取得したことから、薬価基準収載後に製品名「コルスバ静注透析用シリンジ17.5 μ g、25.0 μ g、35.0 μ g」として販売を開始するための準備を進めています。なお、脊髄小脳変性症治療薬ロバチレリン（一般名、開発番号：KPS-0373）については、本年7月に承認申請を一旦取り下げ、追加臨床試験の実施可能性を検討しています。

海外においては、子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名）について、従来からの発売スケジュールを見直し、子宮筋腫を適応症とする2024年度中の欧州における本剤の発売に向け、技術導出先であるセラメックス社（英国）により市場導入準備が進められています。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2023年3月期		2024年3月期			
	第2四半期累計	通期実績	第2四半期累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	32,864	67,493	36,978	12.5%	77,500	14.8%
医薬品事業	27,946	56,243	30,765	10.1%	65,000	15.6%
医薬品	23,550	47,077	26,420	12.2%	54,500	15.8%
ヘルスケア食品	1,766	3,461	1,763	△0.1%	3,600	4.0%
技術料 ^{*1}	220	1,053	171	△22.2%	1,900	80.4%
その他 ^{*2}	2,410	4,650	2,410	0.0%	5,000	7.5%
情報サービス事業	3,335	8,285	4,133	23.9%	8,400	1.4%
建設請負事業	1,250	2,343	1,663	33.0%	3,300	40.8%
物品販売事業	332	621	416	25.1%	800	28.8%
(売上高のうち輸出)	(2,407)	(4,584)	(2,268)	(△5.8%)	(5,600)	(22.2%)
売上原価	16,680	35,118	18,677	12.0%	39,300	11.9%
(原価率%)	(50.8)	(52.0)	(50.5)		(50.7)	
売上総利益	16,184	32,374	18,300	13.1%	38,200	18.0%
販売費及び一般管理費	16,810	33,503	16,284	△3.1%	33,200	△0.9%
研究開発費	5,200	10,391	4,499	△13.5%	9,400	△9.5%
(売上高比%)	(15.8)	(15.4)	(12.2)		(12.1)	
営業利益又は営業損失(△)	△625	△1,129	2,015	-	5,000	-
営業外収益	977	1,837	1,531	56.7%	2,000	8.9%
受取利息及び配当金	742	1,402	728	△1.9%		
その他の収益	235	434	803	241.8%		
営業外費用	43	109	81	89.7%	300	175.2%
支払利息	10	20	9	△10.8%		
その他の費用	32	89	72	122.0%		
経常利益	308	598	3,465	-	6,700	-
特別利益	4,111	13,086	4,054	△1.4%	7,000	△46.5%
特別損失	2	4	17	680.2%	200	-
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,418	13,680	7,502	69.8%	13,500	△1.3%
法人税、住民税及び事業税	629	2,113	1,334	112.0%	2,500	18.3%
法人税等調整額	420	932	411	△2.2%	900	△3.4%
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	42	105	78	86.0%	100	△4.8%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,326	10,528	5,678	70.7%	10,000	△5.0%

(包括利益)

(26) (△4,229)

(9,608)

(-)

*1：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティの合計額

*2：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

売上高	<p>実績： 医薬品事業：10.1%増収 医薬品が増加。医薬品ではベオーバ、タブネオス、カログラの増加、タバリスの新発売などにより全体で増収。また、ヘルスケア食品が微減、技術料売上が減少の一方、その他の売上はコ・プロモーションフィーが増加するも同額。 その他の事業：26.3%増収 情報サービス事業が23.9%増収、建設請負事業が33.0%増収、物品販売事業が25.1%増収。</p> <p>予想： 医薬品事業：15.6%増収 医薬品では、引き続きベオーバ、タブネオス、カログラなどに加え、新製品であるタバリス、コルスバの育成により、増収の見込み。 ヘルスケア食品は微増、技術料売上、その他の売上はともに増加の見込み。 その他の事業：11.1%増収 情報サービス事業、建設請負事業、物品販売事業の全ての事業にて増加の見込み。</p>
売上原価	<p>実績：売上原価率は0.3ポイント改善 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化やコ・プロモーションフィーの増加などにより若干の改善。加えて、その他の事業も事業構成の変化などにより改善。</p> <p>予想：売上原価率は1.3ポイント改善 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化に加え、技術料売上の計上などにより改善を見込む。また、その他の事業も事業構成の変化などにより改善を見込む。</p>
販売費及び一般管理費	<p>実績：前年同期比3.1%減少 販売費、一般管理費において微増、研究開発費において減少。研究開発費の減少は、前年同期に計上した既導入テーマに係るマイルストンの反動、臨床後期テーマの進捗などに伴う臨床試験費用の減少による。</p> <p>予想：前期比0.9%減少 販売費において増加、一般管理費、研究開発費において減少の見通し。研究開発費の減少は、年度前半と同様の理由による。</p>
営業外損益	<p>実績：有価証券売却益、有価証券評価益の増加などによる。</p> <p>予想：特別なものは見込んでいない。</p>
特別損益	<p>実績：投資有価証券売却益の減少などによる。</p> <p>予想：年度前半に加えて後半においても、投資有価証券売却益の計上を見込む。 東京都日本橋地区の再開発に伴う減損損失の計上を見込む。</p>

【その他項目（連結）】

(百万円)

項目	2023年3月期		2024年3月期			
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	前同比	通期予想	前期比
減価償却費	1,994	4,109	2,049	2.8%	4,300	4.6%
設備投資額	627	2,187	480	△23.5%	2,000	△8.6%
主要内容	生産設備等 56 その他 571	生産設備等 110 その他 2,077	生産設備等 70 その他 410		生産設備等 800 その他 1,200	
期末従業員数(人)	1,841	1,795	1,808	△33	-	-

Ⅱ. 連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目	決算期	2023年3月期		2024年3月期 第2四半期	増減 (対前期末)
		第2四半期	期末		
資 産	流動資産	99,515	100,641	105,869	5,228
	現金及び預金	28,388	25,893	24,234	△1,658
	受取手形、売掛金及び契約資産	22,399	22,780	27,064	4,284
	特定金銭信託及び有価証券	26,411	27,541	27,616	75
	棚卸資産	19,998	22,798	24,582	1,784
	その他の流動資産	2,317	1,627	2,370	743
	固定資産	134,074	120,558	126,009	5,450
	有形固定資産	23,862	24,579	24,276	△302
	無形固定資産	1,604	1,507	1,582	74
	投資その他の資産	108,607	94,472	100,151	5,678
	投資有価証券	91,908	74,769	81,301	6,531
	長期前払費用	12,568	15,209	14,107	△1,101
	退職給付に係る資産	2,675	3,089	3,304	214
	繰延税金資産	477	433	442	8
	その他の投資等	1,011	988	1,013	25
	貸倒引当金	△33	△18	△18	-
資産合計		233,589	221,200	231,879	10,679

現金及び預金	・主として、利益による増加の一方、9月末の金融機関休日に伴う売掛金未決済による減少
受取手形、売掛金及び契約資産	・医薬品事業、その他の事業における増加、9月末の金融機関休日に伴う売掛金未決済による増加
棚卸資産	・医薬品事業における商品及び原材料の増加、情報サービス事業における仕掛品の減少
その他流動資産	・医薬品事業における前払費用の増加
有形固定資産	・主として、減価償却による減少
投資有価証券	・時価評価による含み益の増加
長期前払費用	・主として、減価償却による減少

(百万円)

項目	決算期	2023年3月期		2024年3月期 第2四半期	増減 (対前期末)
		第2四半期	期末		
負債	負債合計	32,674	26,385	30,251	3,865
	流動負債	16,499	14,957	16,763	1,806
	支払手形及び買掛金	5,052	4,617	4,705	87
	短期借入金	1,590	1,490	1,390	△100
	未払法人税等	859	408	1,511	1,102
	契約負債	2,554	1,846	1,734	△112
	その他の流動負債	6,442	6,594	7,423	828
	固定負債	16,175	11,428	13,487	2,059
	繰延税金負債	15,163	10,426	12,527	2,100
	その他の固定負債	1,011	1,001	959	△41
純資産	純資産合計	200,915	194,814	201,628	6,814
	株主資本	155,889	161,246	164,130	2,884
	資本金	24,356	24,356	24,356	-
	資本剰余金	24,226	24,226	24,226	△0
	利益剰余金	120,218	125,576	123,705	△1,870
	自己株式	△12,912	△12,912	△8,158	4,754
	その他の包括利益累計額	44,189	32,653	36,503	3,849
	非支配株主持分	836	914	995	80
負債及び純資産合計		233,589	221,200	231,879	10,679

支払手形及び買掛金	・医薬品事業における減少、情報サービス事業、建設請負事業における増加
未払法人税等	・医薬品事業における所得増に伴う増加
その他の流動負債	・医薬品事業における未払消費税の増加
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益増加に伴う増加
利益剰余金	・期中配当金支払いによる1,844百万円の減少、自己株式の消却による5,704百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益による5,678百万円の増加
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加、退職給付に係る調整累計額の減少

Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期 2023年3月期 第2四半期累計	2024年3月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,158	△2,333	825
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,936	3,653	717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,407	△2,959	△1,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	5	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,620	△1,632	△11
現金及び現金同等物の期首残高	53,004	48,884	△4,120
現金及び現金同等物の期末残高	51,383	47,251	△4,131

主な増減要因（前年同期比）

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間において2,333百万円の支出となりました。その他流動負債の増加などの収入増加要因がありました一方で、売上債権や棚卸資産の増加などが支出増加要因となりました。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券の売却による収入が増加したことに加え、長期前払費用の取得による支出が減少したことなどにより、前年同四半期に比べ717百万円増の3,653百万円となりました。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、前年同四半期に比べ1,551百万円支出増の2,959百万円となりました。

IV. 配当の推移

(円)

項目 \ 決算期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期予想
中間配当	27	28	40	41
年間配当	54	56	80	82

(参考)

(百万円)

自己株式の取得 (取得株式数)	1,303 (600千株)	-	-	6,000 (2,000千株)
自己株式の消却 (消却株式数)	-	-	-	5,704 (2,500千株)

V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2022年 3月期	2023年3月期		2024年3月期			
		第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
過活動膀胱治療薬 ベオーバ	8,141	5,183	11,795	7,087	36.7%	15,800	34.0%
デスモプレシン製剤 ミニリンメルト、他*1	3,965	1,925	3,703	1,885	△2.1%	3,450	△6.8%
排尿障害改善薬 ユリーフ	2,878	1,200	2,345	1,087	△9.4%	2,100	△10.4%
高リン血症治療薬 ピートル	5,784	2,951	5,665	2,770	△6.1%	5,800	2.4%
透析そら痒症治療薬 コルスバ	-	-	-	-	-	500	-
腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファBS注JCR	3,730	2,229	4,386	2,090	△6.3%	4,100	△6.5%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	3,834	1,653	3,055	1,248	△24.5%	2,300	△24.7%
糖尿病治療薬 グルベス、グルファスト	4,990	2,135	4,061	1,983	△7.1%	3,800	△6.4%
糖尿病治療薬 マリゼブ	1,234	559	1,059	549	△1.8%	1,200	13.3%
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,412	564	1,073	509	△9.8%	1,000	△6.8%
MPA*2、GPA*3治療薬 タブネオス	-	213	1,029	2,141	904.9%	5,000	385.9%
潰瘍性大腸炎治療薬 カログラ	-	207	500	585	182.2%	1,400	180.0%
慢性ITP*4治療薬 タバリス	-	-	21	308	-	700	-

*1：ミニリンメルト、デスモプレシン点鼻液、デスモプレシン点鼻スプレー、デスモプレシン静注

*2：顕微鏡的多発血管炎

*3：多発血管炎性肉芽腫症

*4：特発性血小板減少性紫斑病

VI. 新薬開発状況（自社）

（2023年11月現在）

製品名 ／一般名 ／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
コルスバ® ／ジフェリケファリン ／MR13A9	透析患者におけるそう痒症*	κオピオイド受容体刺激作用	承認取得	導入品／丸石製薬 共同開発
CG0070	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー (米国)
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	第Ⅲ相	創製品
	子宮内膜症		第Ⅱ相	創製品
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
KSP-0243	潰瘍性大腸炎		第Ⅱ相	創製品

*：承認された効能又は効果：血液透析患者におけるそう痒症の改善（既存治療で効果不十分な場合に限る）

※1 ロバチレリン（脊髄小脳変性症）：申請を取り下げ、追加臨床試験の実施可能性を検討中

※2 前回公表時（2023年7月）からの変更点 コルスバ® 承認申請中 → 承認取得

VII. 新薬開発状況（導出）

（2023年11月現在）

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	欧州	セラメックス(英国)	承認取得
			中国	バイオジェニユイン(中国)	第Ⅲ相
			台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	申請準備中
	子宮内膜症		欧州	セラメックス(英国)	第Ⅲ相
			中国	バイオジェニユイン(中国)	第Ⅲ相
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿 障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用	ベトナム、他	エーザイ(日本)	承認申請中
ホスタマチニブ (fostamatinib)	慢性特発性血小板減少性 紫斑病	チロシキナーゼ阻害作用	韓国	JWファーマシューティカル (韓国)	申請準備中
			中国、他	インマジンバイオファーマシュー ティカルズ(中国)	臨床試験 準備中
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	中国、他	アファメドセラピューティクス (中国)	第Ⅱ相

※ 前回公表時（2023年7月）からの変更点 なし